綱　領

1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成22年
3月15日
発　行
第208号

発　行　所
日本赤十字新労働組合連合会
（日赤新労）
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F
TEL（03）3433-3028
FAX（03）3432-4560
Eメール　shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者　渡 辺 智 恵

第49回定期全国大会開催

新しいスローガンに「勤務評定の完全実施と人材育成」

二月二十一日から二十三日の三日間、愛知県の交通拠点都市である豊橋市において、第四九回定期全国大会が開催された。「ホテル日航豊橋」を会場に、全国加盟単組より代議員及びオブザーバー等九六名の参加のもと、平成二十二年度運動方針案や要求書のほか、日赤新労結成五〇周年記念事業等について審議、報告が行われ、新執行体制のもと、本年度も要求獲得に向けて力強く前進していくことを確認した。

初日の二十一日は、開会のことばの後、出席者全員により日赤新労労働歌が合唱され、資格審査・成立確認を経て、大会役員及び議長団が選出された。議長には峯徹次氏（福島日赤）、副議長に丸橋徹氏（原町日赤）、書記に白澤亮氏（今津日赤）。

次いで、山田中央執行委員長が挨拶に立ち、次のように述べた。

「最近の日本の社会情勢は『実感なき経済成長』と言われた景気判断から反転し、『世界金融不況』と言われる不安定なデフレ状況の中にある。我々日赤新労の組合活動は、日赤に勤務する職員による、組合員のための、組合員による活動が原点であることを考えれば、社会情勢とは一線を画しての活動や交渉であるべきだろうが、日本赤十字社としてのある意味公的な機関である事を考え合わせれば、なかなか難しいところもある。

こうした中、平成二十一年度給与改定はマイナス改定となり、下げ幅は平均で〇・二%、管理職層においては〇・三%の引下げとなった。交渉の中では、実施時期を年明けとしたこと。また、平成十八年の給与構造改革に伴う経過措置として激変緩和措置をするとした現給保証の廃止の検討も行なわれたが、早い段階から新労の主張を訴えて申し入れを行った結果、本社も新労の見解を勘案した上での最終回答となったこと。合わせて、住居手当の廃止を阻止することができたのは、少なからず組合員の生活を守ることに繋がったのではないかと考えている。

また、夏期手当、年末手当のボーナスに関しても、前年比で〇・三五カ月の引下げとなった。医療施設では七割が経営不振にある中、本社支給額を更に下回った施設があった現実は、本部としても真摯に受け止め、本社交渉の限界を超えて交渉する術（すべ）を考えなくてはならないと感じたところである。

いずれにしても、基本賃金を維持・向上できなかった事に関しては、致し方ないこととはいえ、日赤新労の歴史に刻まれることになるが、戦国武将は『勝って兜の緒締め、負けた時は自分の姿を見つめ直した』と言う。組合活動は戦国時代の勝ち負けではないが、論戦交渉を優位に進め、職員の生活向上を基本に施設の繁栄も考えなくてはならない。ここにお集まりの皆様には、また新たな一年の出発として活発にご協議頂き、合議の上でご決定を頂きたいと思う。』

報告事項に入り、各部報告として組織・教宣・調査の各部長より一年間の活動報告が行われ、組織部報告においては、二月十九日にリニューアルアップした組合ホームページについて、厚谷相談役より詳細なリニューアル内容の説明が行われた。一般経過報告においては渡辺中央書記長より資料にそって報告が行われ、昨年八月に実施された育児短時間勤務制度に関しては、一月の賃金委員会を踏まえた補足説明が加えられた。代議員からは、準夜勤務の取扱いやオンコールの対応、血液センターでの人事異動等について質問や要望が出され、活発な質疑が行われた。続いて、平成二十一年度会計収支決算報告が行われ、会計監査委員から適正且つ正確に処理されている旨の報告がなされ、賛成多数で承認された。

大会二日目は単組活動報告から始まり、単組代表者が資料に基づいて報告を行った。続いて行われた審議事項は、後記のとおり。

大会最終日には、平成二十二年度本部役員選挙が行われ、役員詮衡委員会で詮衡された十名が新役員として信任、決定された。

最後に、嘉麻赤十字病院の菊愛子氏により大会宣言が読み上げられ、大会議長である峯徹次氏の大きな掛け声のもと、出席者全員で「頑張ろう」三唱が行われ、盛会の中に三日間の大会を終了した。

基本賃金引上げ要求
三・〇%に決定！

■報告事項■

一、各部報告
二、一般経過報告
三、会計収支決算報告
四、会計監査報告
五、単組活動報告

■審議事項■

一、平成二十二年度運動方針案について
原案どおり、賛成多数で決定された。
二、要求書案について
基本賃金の引上げは定昇込み三・〇%（一万八百円）とし、その他諸手当等については第三回中央委員会で承認された内容が賛成多数で決定された。
三、スローガン及び闘争方針案について
「勤務評定の完全実施と人材育成」を新たに盛り込むとした原案のとおり、決定された。
四、予算案について
前年度予算執行状況等を踏まえた提案がなされ、原案どおり決定された。
五、本部役員について
（新役員は裏面に掲載）
六、日赤新労結成五〇周年記念事業について
記念事業実行委員の西嶋氏より、前日に開催された五〇周年記念事業検討委員会報告が行われ、式典開催日は平成二十三年二月十九日（土）、場所は日赤新労の結成大会開催地である伊勢市を予定していること、組合ロゴマークを募集することなどが報告された。
七、その他
〇栄養課職員の処遇について（石巻日赤より）
本部は、業務委託による職員の処遇問題を大きな問題として捉え、組合員を守るために取り組んでいく考えを示した。
〇厚生年金基金等の制度及び財政のあり方の検討状況について（本部）
差し迫って見直しを検討する必要がある中、組合員の意見を集約して、検討委員会に臨んでいく。
〇教宣冊子「組合のはなし」の発行について（本部）
冊子を必要とする単組は部数を申し出ること。HPからのダウンロードも可。

平成二十二年度全国会議開催予定

〇第一回中央委員会
五月九日～十日
〇単組新任役員研修会
六月十九日～二十日
〇第二回中央委員会
九月十一日～十二日
〇病院看護部会
十月二十三日
〇第三回中央委員会
十二月十二日～十三日
〇第五〇回定期全国大会
平成二十三年
二月十九日～二十一日

豊橋大会宣言

日本赤十字新労働組合連合会は、第四九回定期全国大会を風光明媚な三河湾を望む豊橋市の「ホテル日航豊橋」において盛大に開催した。

我々は、平成二十二年度運動方針として、
〇実質賃金を獲得し
　豊かでゆとりある生活
〇労働時間短縮と
　完全週休二日制の実施
〇教宣活動を強化し
　組織の団結と活性化
〇勤務評定の完全実施と
　人材育成
〇定年年齢の引上げと
　老後保障の充実
〇福利厚生の充実と
　活力ある職場環境

の六項目をスローガンに掲げ、年々厳しさを増す医療環境と労働条件の中、日赤新労の理念を基調とし、全組合員の協力のもと、ゆるぎない意志と団結に努め、要求貫徹に向って力強く前進することを誓います。

右、豊橋大会宣言とする。

平成二十二年二月二十三日

嘉麻赤十字病院職員組合
菊　愛　子

〇結成50周年を迎えるにあたり、
　組合員を増員しよう！
〇日赤新労の底力を
　集結しよう!!

平成22年度本部役員

中央執行委員長
山田　隆幸
（芳賀日赤）

中央執行委員
一條　浩一
（宮城血セ）

中央副執行委員長
秋友　信男
（岡山日赤）

中央執行委員
印南　新一
（大田原日赤）

中央副執行委員長
内海　和彦
（石巻日赤）

中央執行委員
伊藤　高敬
（愛知血セ）

中央書記長
渡辺　智恵
（三原日赤）

会計監査委員
三浦　勝紀
（大津日赤）

中央会計
永岡　弘道
（名一日赤）

会計監査委員
川上　知子
（嘉麻日赤）

六期目の就任にあたって

中央執行委員長　山田　隆幸

第四九回定期全国大会の役員改選において、引き続き中央執行委員長に選出されました。六期目の就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本部役員の最大の任務であります本社交渉については、日赤新労の機関決定である要求書を基本に活動を強化していきたいと考えています。基本賃金の引上げは組合員の切実なる希望であることを念頭に、本社交渉に臨みたいとも考えています。しかし、現実としては、「今春闘で、連合は統一ベースアップ要求を見送り、賃金カーブの維持による定期昇給の確保を目標に掲げた」との記事もあるように、前途多難の出航が予想されるところです。

我々日赤新労本部は、基本的には組合員に、そして加盟単組に夢と希望を与えられる組織でなければならないと考えています。日本赤十字社を誇りに思い、そして組合員がそれぞれの施設で働きがいのある職場環境の整備を推進することが出来たら、素晴らしいことと思っています。

日赤新労の掲げる要求書の中には、社会情勢に左右されない、自分たちの職場環境を改善する事項もたくさん含まれており、実現できたら組合員に喜んでもらえる項目も多数ありますので、要求実現に向けて地道に交渉を重ねてまいりたいと思います。

日赤を変えるのは日赤新労であり、新労組合員であると信じています。

さて、新労本部が組織の拡大や組合員の増強について言葉で言うのは容易く、実行するのは各単組執行部であることは重々承知しております。しかし、来年二月に日赤新労結成五〇周年の記念大会を開催することがひとつの節目であることを見定めれば、この場を借りまして、皆さまに是非とも組合員の増強にお力添えいただきますよう重ねてお願い申し上げる次第です。

新たな年度を迎えるにあたり、組合員に喜んでもらえる、「日赤新労に加盟していて良かったね」と言ってもらえることを切に望んでいます。そんな気持ちを込めて、引き続き「よく観て、よく聴いて、勇気（言う気）をもって！」を自分の信念とし、本部活動にまい進していく所存です。

最後に、今年度も全国の日赤新労組合員の皆様のご支援とご協力をお願いしますとともに、加盟単組並びに施設の益々の発展を祈念して、就任の挨拶といたします。

退任挨拶

愛知県赤十字血液センター　佐合　政彦

第四一回定期全国大会において中央執行委員として選出され、八年間の長きにわたり、執行部の皆さんや全国の組合員の皆様方のご支援とご協力によって本部役員としての任務を果たすことができ、深く感謝申し上げます。

今回、勤務地であり、地元単組の地である豊橋市での大会をもって退任することになったのも、感慨深いものがあります。

在任中は、給与構造改革や再雇用制度、福利厚生事業、勤務評定制度等多くの検討事項があり、限られた日程で開催される中央委員会等各種会議や本社団体交渉、労使協議会など、皆さまの助けがあってこそ乗り越えることができたと感じています。

また、清水赤十字病院職員組合や滋賀県赤十字血液センター職員組合の誕生と新労加盟など大変うれしい出来事も、数多く記憶に残っています。

今後は、勤務する施設の一職員として、出来る限り組合に貢献していこうと考えています。

最後に日赤新労が労使協調という基本路線を守り、ますます組合員の働きやすい職場作りにご尽力されますことを祈念し、御礼の言葉といたします。ありがとうございました。

北から南から

職員組合結成一周年を迎えて

滋賀県赤十字血液センター職員組合

平成二十一年一月十一日に松岡先生と山田中央執行委員長や本部役員の方々の前で職員組合を結成して、一年が経ちました。

この一年間は本部役員の方々や事務局さん、また全国の日赤新労の皆様に大変お世話になりました。多くの方々に支えられ、一周年を迎えることができ、感謝感謝の一年でした。本当にありがとうございました。

単組活動もようやく形になりはじめてきました。昨年五月には組合事務所も完成し、初めて一時金の交渉も経験しました。すべてが順調とは行きませんでしたが、私たち一年生には大変充実した一年だったと思っています。

この一年間の成果としては、喫煙所の整備、職員用自動販売機の設置、出張旅費未払い分を三年二カ月遡り支給、非常勤職員の一時金五%アップ、職員用駐車場の照明設置と多くの要求が通りました。滋賀血セの職員にも、私たちの活動や結果に対して、「あいつら結構やりよるやん」と言われ、少々気持ちの良い思いもしました。

十二月には、全員参加とは行きませんでしたが、一周年記念行事として北陸旅行に行ってきました。わずか十名の組織ですが、一致団結して活動できたことを大変嬉しく思っています。

二年目もより一層飛躍できるよう頑張って行きたいと思いますので、日赤新労の組合員の皆様には引き続きご指導頂きますようお願い申し上げます。

（書記長　川﨑　秀二）

ホームページをリニューアル

日赤新労のホームページは平成15年に立ち上げ、平成18年に一度目のリニューアルを行って組合員専用ページを立ち上げ、組合員掲示板や本部広報室、速報の掲示をパスワード管理することで、迅速な情報の発信を行ってきました。

今回は二度目のリニューアルとして、ホームページのデザインもすべて一新し、新しいコンテンツを含め、かねてから要望のあった資料等のダウンロードも可能とし、現在考えられる組合のホームページとして出来ることを最大限盛り込みました。

今後は、情報のさらなる充実とともに、連合体としての長所を生かせるようなホームページの活用を図り、組合員の皆様のご意見もお聞きしながら、充実したホームページの運営を行ってまいります。

○リニューアルの主なポイント

1．一般用ページ（トップページ）
　サイトマップ、サイト内検索の新設等
2．組合員専用ページ（ＩＤ・パスワードが必要）
　新労スケジュール、加盟単組一覧、各部情報の新設。各種資料の閲覧、ダウンロード等
3．携帯専用ホームページの新設
　スケジュールや組合ニュースを携帯から閲覧

ロゴマークのデザインを募集！

日赤新労結成50周年に向けて、
ロゴマークを作成することになりました。
組合員の皆さん、この記念企画にぜひ
ご応募ください。（締切りは８月末）